

# 山梨県ボランティア協会 令和3年度事業報告書

## 目次

■ 山梨県ボランティア・NPOセンター運営事業への取り組み	
1 共同運営体制	2
2 山梨県ボランティア・NPOセンター運営委員会委員	2
3 第45回「ボランティア・NPO活動推進月間」主催者連絡会議	2
4 第45回「ボランティア・NPO活動推進月間」ポスター図案の募集	2
5 第45回「ボランティア・NPO活動推進月間」ポスター図案審査会	3
6 山梨県ボランティア・NPOセンター運営に伴う三者協議	3
■ 山梨県ボランティア協会自主事業としての取り組み	
I こども若者応援事業	
1 やまなし子どもの居場所づくり応援事業 ～活動助成による「食」のインフラ支援～	4
2 GO TO CAMP in本栖寺・いのちをつなぐ支援活動を応援!～支える人を支えよう～	4
3 GO TO PARK 富士川町クラフトパーク・子どもと学生の交流・母親癒しプログラム有	5
4 「やまなし子ども・子育て応援県民会議」総会への出席参画	5
5 やまなし高校生ボランティアフォーラムの開催	6
6 山梨県学生ボランティア推進委員会の創立	6
II ひと・まち・くらし応援事業	
1 やまなし未来共創HUB会議への参画	7
2 全国ボランティア推進団体会議(通称・民ボラ)への参画	8
3 「夢を生きる:女性の為の教育・訓練賞」応募者推薦	9
4 関係機関・団体等からの委員委嘱等に伴う対応	9
5 後援名義使用要請への対応	11
III 県V協中間支援組織基本事業	
1 「きふの窓口」	11
(1)ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム観戦(招待) 株式会社キトー 様	11
(2)マックスバリュ東海株式会社 様	12
(3)甲府ミュージアムハウス 様	12
(4)令和3年度 寄付者・寄付金額一覧表	12
2 「ボランティアの窓口」	12
3 動画放送局「Channel V」	13
4 社会貢献情報誌「やってみなはれ(仮称)」	13
5 「福祉作業所などの商品販売サイト」	13
■ 法人運営	
1 役員の改選・業務執行体制の強化	13
2 ガバナンス・コンプライアンス強化」	14
3 会議開催	15

## ■ 山梨県ボランティア・NPOセンター運営事業への取り組み

山梨県は、2021年・令和3年8月12日、ボランティア通りに「やまなし地域づくり交流センター」(愛称・エミフル)を設置しました。

本交流センターは、多様な主体が交流・連携し、パートナーシップのもと、起業・創業・社会貢献活動等地域経済の活性化と地域課題の解決に向け、「住民の主体的な参画と地域コミュニティ活性化に資する中核的な拠点を」目指しております。(県説明資料より抜粋)

オープンに合わせ、山梨県ボランティア・NPOセンターは、県庁防災新館1階から交流センター3階に移転し、山梨県社会福祉協議会と山梨県ボランティア協会(以下「県V協」という。)が共同で運営にあたり、山梨県のボランティア、NPO活動の普及、促進を図りました。

センター運営事業の全体(詳細)は県社協事業報告書をご参照下さい。

以下、県V協としての取り組み状況を報告いたします。

### 1 共同運営体制

手続等	山梨県ボランティア・NPOセンター運営に関する協定書の締結 出向契約書の締結		
出向先	社会福祉法人山梨県社会福祉協議会		
出向者	2名		
期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日	1名	山口 美佳
	令和3年7月1日から令和4年3月31日	1名	土屋 茂

### 2 山梨県ボランティア・NPOセンター運営委員会委員

名称	第1回運営委員会
期日	令和3年8月6日(金) 13:30~15:30
会場	甲府市中央公民館 1階 第2会議室
出席	宮崎 靖 常務理事・事務局長
内容	(1)令和2年度山梨県ボランティア・NPOセンター事業実績について (2)令和3年度山梨県ボランティア・NPOセンター運営状況について (3)山梨県立やまなし地域づくり交流センターについて 内覧 15:30~16:00 (4)山梨県立やまなし地域づくり交流センター

名称	第2回運営委員会
期日	令和4年3月25日(金) 10:00~11:30
会場	やまなし地域づくり交流センター 4階 大会議室
出席	田辺 光正会長
内容	令和3年度山梨県ボランティア・NPOセンター運営状況について

### 3 第45回「ボランティア・NPO活動推進月間」主催者連絡会議

期日	令和3年6月23日(水) 10:00~11:30
会場	山梨県庁 防災新館 408 会議室
出席	宮崎 靖 常務理事・事務局長
内容	実施要綱について 年間スケジュールについて スローガンについて ポスター図案募集について

### 4 第45回「ボランティア・NPO活動推進月間」ポスター図案の募集

目的	ボランティア・NPO活動に対する県民一人ひとりの一層の理解と関心を深め、ボランティア・NPO活動の幅広い浸透を図るため、令和4年2月を第45回
----	---

「ボランティア・NPO活動推進月間」とし、関係団体が連携しながら事業を実施します。その広報活動の一環として、ボランティア・NPO活動の普及・啓発用ポスター図案の募集を行います。(募集要領より)

方針 主催団体一員として対応方針をたてポスター図案の募集に取り組みました。

- ①幅広く県民の参画を得ていく
- ②多様な主体の参画を得ていく
- ③図案作成のあり方を工夫していく
- ④図案の作成方法を工夫していく

依頼等 令和3年9月15日以降、対象施設等へ訪問し、ポスター図案の募集へのお願い(依頼)を行った。

対象等 小学校・中学校・高校・大学等  
児童養護・障害者・高齢者利用施設  
NPO・団体

成果等 応募された皆さまや学校・施設等関係者の積極的な参画を得られました。

応募作品数 298点 (昨年度は142点)

作品数内訳 108点 小学生

47点 中学生

2点 高校生

138点 団体

3点 一般

参加の主体 小・中・高等学校・生徒、児童養護・障害福祉・老人福祉施設・利用者・職員。外国籍支援NPO法人、宗教法人、一般(県民)

## 5 第45回「ボランティア・NPO活動推進月間」ポスター図案審査会

期日 令和3年11月24日(水) 14:00～16:00

会場 やまなし地域づくり交流センター3階 第4会議室

出席 田辺 光正会長

内容 (1)応募状況及び審査方法の説明

(2)審査

(3)協議

最優秀賞 1点

優秀賞 6点

## 6 山梨県ボランティア・NPOセンター運営に伴う三者協議

期日 令和3年10月20日(水) 15:00～16:30

会場 県庁防災新館 411会議室

出席 6名 山梨県県民安全協働課 2名

山梨県社会福祉協議会 1名

山梨県ボランティア協会 3名 田辺会長、土屋副会長、斉藤副会長

内容 (1)令和4年度山梨県ボランティア・NPOセンター運営対処方針(案)について

(2)令和4年度山梨県ボランティア・NPOセンター 事業概要・計画(案)について

(3)山梨県ボランティア・NPOセンター運営費

令和3年度・4年度比較表(歳入・歳出別)(案)について

## ■ 山梨県ボランティア協会自主事業としての取り組み

### I こども若者応援事業

山梨県教育庁生涯学習課を窓口国立教育政策研究所・社会教育実践研究センターに登録。都道府県・市区町村体験活動ボランティア活動支援等一覧全国センターWEBサイトに掲載し、「やまなし青少年体験活動支援センター」としてのプログラム開発・ソフト事業として令和3年度青少年が体験活動ボランティア活動に「参加・体験・学習」する場づくりをねらいに以下の事業に取り組みました。

#### 1 やまなし子どもの居場所づくり応援事業 ～活動助成による「食」のインフラ支援～

助成事業	休眠預金制度に基づく2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成
資金分配団体	一般社団法人全国食支援協力会
実行団体	特定非営利活動法人山梨県ボランティア協会
協働団体	やまなし地域こども食堂グループにじいろのわ
実施期間	2020年(令和2年)10月～2021年(令和4年)10月
助成金	450万円
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ハブ拠点2カ所の冷蔵・冷凍庫の整備</li><li>・備蓄倉庫の整備</li><li>・物品運搬及び運搬車の整備</li><li>・ロジ拠点及びハブ拠点2カ所の運営費</li><li>・月の一度のミーティングによる情報交換</li><li>・こどもアプリ等による情報発信</li></ul>
成果確認	全国食支援活動協力会の活動助成による「食」のインフラ支援を通じて、食材や食品を保管できるロジ拠点・ハブ拠点の整備を図ることができた。同時に食品提供者(企業等含む)と食品を必要としている人とをつなぐネットワークが23団体から32団体へ拡大し流通ルートの仕組みづくりができた。併せて県内27市町村における「フードパントリー」や「学習支援」等活発化。

#### 2 GO TO CAMP in本栖寺・いのちをつなぐ支援活動を応援!～支える人を支えよう～

助成事業	令和3年度赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン
実施主体	いのちをつなぐ支援活動～支える人を支えよう～助成
申請団体	社会福祉法人山梨県共同募金会 特定非営利活動法人山梨県ボランティア協会 特定非営利活動法人にじいろのわ
実施期間	2021年(令和3年)7月24日(土)～7月25日(日)
助成金	30万円
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・子ども食堂を利用している母子家庭の親子118名が参加</li><li>・本栖湖畔にある佛光山本栖寺で一泊二日のキャンプを実施</li><li>・レクリエーション、花火大会、肝試し、本栖湖畔散策等(リクエストによる)</li><li>・高校生が子どもたちとペアを組み母親も食事や清掃等全員参画で運営。</li><li>・ボランティア体験活動への参画及び団体行動を通しての学びの場づくり</li></ul>
成果確認	活動に参加した母親からは「参加できて本当に良かった。子ども達もとても楽しかったと言っている」「次回があるなら参加したい」という感想を頂いた。コロナ禍で行動が制限されストレスが多い生活を送っている母子家庭に対し一時ではあるが自然のなかでリフレッシュしてもらうことができた。団体行動を通して、高校生スタッフも含め子どもたちの礼儀・規律・協調性に対する意識が生まれ、共助の心が芽生えるきっかけとなった。初めてボランティア活動に参加する人もいましたが、「自分に何かできることがあるならば、ぜひまた参加したい」という声ももらい若い世代のボランティアに対するハードルを少し下げる良い機会ともなった。

### 3 GO TO PARK 富士川町クラフトパーク・子どもと学生の交流・母親癒しプログラム有

主催団体	やまなし地域こども食堂グループにじいろのわ 特定非営利活動法人にじいろのわ 高校生ボランティア団体 LINK
共催団体	甲府市総合市民会館、特定非営利活動法人山梨県ボランティア協会
実施時期	2021年(令和3年)11月3日(水) 8:30~16:30
実施会場	身延町 富士川クラフトパーク
参加者数	65名 母子家庭38名(内こども24名)、高校生スタッフ20名、 大学生スタッフ4名、大人スタッフ3名
プログラム	8:30 甲府市総合市民会館駐車場集合 健康チェック 8:45 出発式 甲府市総合市民会館副館長より挨拶 9:00 山梨交通大型バス2台に分乗 出発 バスプログラム実施 10:30 富士川クラフトパーク到着 集合写真 午前 プログラム LINKによるプログラム 12:00 昼食 午後 プログラム LINKによるプログラム 15:00 富士川クラフトパーク出発 16:30 甲府市総合市民会館到着 解散式
成果確認	今回目標としてかかげた「親離れ、子離れ」に関しては、昼食の時も親のもとに戻らない子もいました。 そのことにより、母親たちとの話す時間が増え、様々な状況を聞かせて頂きました。発達障害や不登校のカミングアウトまで話していただくなど、今後の課題を知ることができました。 こども食堂の活動から始まり、コミュニケーションがとれて信頼関係が出来る、活動の範囲が広がってくる必然的な流れがでてきている。 当事者の情報を聞き、悲しい事案が起こる前にセーフティーネットを張り未然に防ぐことが重要です。そのためには、社会全体の理解と関係機関との連携が必要となっている。

### 4 「やまなし子ども・子育て応援県民会議」総会への出席参画

主催団体	やまなし子ども・子育て応援県民会議
実施時期	2021年(令和3年)11月19日(金) 10:00~12:00
実施会場	やまなしプラザオープンスクエア(県庁防災新館1階)
出席参画	土屋 茂副会長
実施内容	・主催者あいさつ ・県民会議議長あいさつ ・議事 第1期(R2.11.19~R3.11.18)の取り組み状況について ★全参画団体の取組事例集配布 第2期(R3.11.19~R4.11.18)の重点取り組み事項について ・県の子育て支援施策説明 ・取り組み事例発表(4団体) ・講演会『イクボスのすすめ~職場革命~』 講師 NPO法人ファザーリング・ジャパン理事 NPO法人コジカラ・ニッポン代表 川島孝之氏
成果確認 (総会資料より)	子ども・子育て応援宣言 社会全体で『子育てしやすさ日本一』実現のための取組を行います！ 応援県民会議や子どもを守るネットワーク会議など、官民協働の基盤となる体制の整備を進めてまいりました。今後は、こうしたネットワークを活用し、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりや、誰ひとり取り残さない社会の構築に向けた子どもの居場所づくりなど、実効性のある取り組みを着実に展開して参ります。

## 5 やまなし高校生ボランティアフォーラムの開催

実施目的	こども若者応援事業として青少年がボランティア活動に「参加・体験・学習」する場づくりの一環として「やまなし高校生ボランティアフォーラム」を開催し、高校生・学生のボランティア活動に対する想いを尊重するとともに、その活動の輪を全県下に広げていくことを目的とする。
実施時期	令和4年1月29日(土) 13:30~16:00
実施会場	やまなし地域づくり交流センター 4階 大会議室
主催団体	山梨県ボランティア協会
共催団体	高校生ボランティア団体LINK
協力団体	特定非営利活動法人にじいろのわ ・ やまなし地域づくり交流センター
後援	山梨県・甲府市
出席対応	田辺光正会長、土屋 茂副会長
実施内容	(1)趣旨説明 ボランティアの必要性と注意点 (2)高校生ボランティアの実践発表 ①駿台甲府高校LINKこどもイベント ②甲府一高探究科 子どもの貧困問題と今後の課題 ③山梨学院高校 街中清掃活動 (3)高校生ボランティア団体を立ち上げた 吉原あさひ氏による特別講演 (4)ボランティア活動の種類・地域・課題・環境・福祉・国際・災害 意見交換と情報共有 (5)まとめ
成果確認	新型コロナウイルス感染症拡大のため、前日に開催を見送りました。 改めて、同様のプログラムで開催予定。

当日は、主催関係者によるZOOM会議を開催しました。  
そこで、高校生等によるボランティア活動の活性化等を目的とした  
緩やかなネットワークづくりに向けた「組織の設立」の「名称」について  
の意見交換を行いました。

## 6 山梨県学生ボランティア推進委員会の創立

経緯経過	令和4年1月29日(土) 13:30~ ZOOM会議にて やまなし高校生ボランティアフォーラム主催関係者により 高校生等によるボランティア活動の活性化等を目的とした 緩やかなネットワークの「名称」の意見交換を行いました。 これをきっかけに、入倉さん等が中心となり、ライン等により 意見集約を行い、名称・代表者等を決めました。
名称	山梨県学生ボランティア推進委員会
体制	委員長 入倉 聖 駿台甲府高等学校 副委員長 中澤 ことり 駿台甲府高等学校 古屋 拓海 山梨学院高等学校
位置付等	山梨県ボランティア協会の委員会として位置づけて 今後の活動を展開していくことを関係者で協議しました。
成果確認	令和3年11月24日開催の理事会にて提案・協議を得て、 当協会として「学生ボランティア」の推進に向け取り組みを 開始しました。その一歩として、学生たちが主体となって、 「山梨県学生ボランティア推進委員会」の設立となりました。

## II ひと・まち・くらし応援事業

### 1 やまなし未来共創HUB会議への参画

パートナーシップに基づく多様な主体との連携協働・ネットワークづくりを図りながら、起業・創業・社会貢献活動等地域経済の活性化と地域課題の解決をねらいとした山梨総合研究所及び関係するメンバーと連携して未来共創事業に取り組みました

設置目的	やまなし未来共創HUB会議設置要綱より 地域のニーズに的確に対応した実効性の高い持続的な事業活動を可能とするため、地域課題解決を目指すソーシャルビジネス等を創造する団体に対する支援を実施する「やまなし未来共創プロジェクト事業(以下「本事業」という。))において、産学官民金言の連携による支援体制を構築することを目的としてやまなし未来共創会議(以下「HUB会議」という。)を設置する。
主催団体	公益財団法人 山梨総合研究所 (HUB会議の事務局)
参加団体	15団体(以下、名簿順) ①山梨県、②山梨県市長会、③山梨県町村会、④やまなし産業支援機構、⑤やまなし観光推進機構、⑥山梨県商工会議所連合会、⑨山梨中央銀行、⑩甲府信用金庫、⑪山梨県民信用組合、⑫大学コンソーシアムやまなし、⑬山日YBSグループ、⑭テレビ山梨、⑮山梨県ボランティア協会
会議実施	第1回 やまなし未来共創HUB会議 令和3年8月2日(月) 15:00～16:30 甲府市総合市民会館 大会議室 ・あいさつ 山梨総合研究所 理事長 今井 久 ・自己紹介 名簿順 出席 田辺光正会長・斎藤節子副会長 ・会議概要説明・要綱確認 ・検討事項 共創テーマの選定について 検討の進め方について 支援の考え方について 第2回 やまなし未来共創HUB会議 令和4年2月18日(金) 15:00～16:30 ZOOM会議 ・あいさつ 山梨総合研究所 理事長 今井 久 ・ビジネスモデルへの各所属及び所属連携による支援の検討 ・次年度以降のHUB会議のあり方について 令和4年度の進め方について、テーマについて
取組経過	山梨県ボランティア協会は「障害者の雇用」をテーマのプロジェクトに参画。 メンバー約15名によりミーティングを行いテーマに基づく課題分析等行う。 田辺会長対応 令和3年 9月17日(金) 18:00～19:30 ZOOM 課題認識について意見交換 令和3年10月11日(月) 19:00～20:30 ZOOM 基礎データ分析 令和3年10月18日(月) 19:00～20:30 ZOOM 全体像の共有 令和3年11月30日(水) 19:00～20:30 ZOOM ヒアリング結果報告
成果確認	令和4年 2月18日(金) 13:00～14:45 ZOOM会議 田辺会長出席 ・あいさつ 山梨総合研究所 理事長 今井 久 ・ビジネスモデル発表会 共創チーム1 CX推進事業 佐野信也さん 共創チーム2 仕事体験プラットフォームやってみ 赤池侑馬さん 共創チーム3 「自己探求」サポート事業 辻麻梨菜さん 共創チーム共通 y2(ワイスクエア)プロジェクト 佐藤文昭さん

## 2 全国ボランティア推進団体会議(通称・民ボラ)への参画

ボランティアリズム推進団体会議は、ボランティアの原点である「主体性・無償性・連帯性」などを大切にしながらのネットワークです。  
このネットワークは固定した事務局を持たず、世話人団体の持ち回りで毎年会議を開催。  
東京・山梨チーム打合せ会議、民ボラ世話人会議を次のとおり行いました。

山梨・東京打合せ会議	1 回	期日 令和3年9月9日(水) 17:00～20:00 方法 オンライン会議 出席 8名 田辺会長参加 内容 民ボラ世話人会の事前打ち合わせ
	2 回	期日 令和3年10月14日(木) 18:00～19:30 方法 オンライン会議 出席 7名 田辺会長参加 内容 (1)開催期日について (3)オープニング全体会(案)について (2)開催場所について (4)分科会(案)について
	3 回	期日 令和4年2月17日(木) 19:00～20:30 方法 オンライン会議 田辺会長参加 出席 13名 内容 (1)全体会 講演について(4)企画締切 3月15日プロフィール・写真含む (2)分科会 アーカイブ方(5)最終調整 3月22日 (3)参加費について 4千(6)広報開始 4月10日
	4 回	期日 令和4年3月18日(金) 20:30～21:30 方法 オンライン会議 田辺会長参加 出席 7名 田辺会長参加 内容 (1)開催要綱について (2)参加者募集・広報について (3)今後の対応について

民ボラ世話人会議	1 回	期日 令和3年9月14日(火) 14:00～17:00 方法 オンライン会議 出席 16名 田辺会長参加 内容 (1)大阪大会のふりかえり協議 (3)次回テーマ案の協議 (2)次回開催地の審議 (4)開催方式などの協議
	2 回	期日 令和3年12月7日(火) 14:00～17:00 方法 東京ボランティアセンター 出席 14名 田辺会長参加 内容 (1)前回の大阪大会の報告等 (5)全体テーマについて (2)開催期日について (6)分科会(案)について (3)開催場所について (7)担当者について
	3 回	期日 令和4年1月28日(金) 9:00～12:00 方法 オンライン会議 出席 13名 田辺会長参加 内容 (1)全体テーマについて (4)クロージングについて (2)分科会(案)について (5)広報の方法について (3)初日夕方企画について (6)全体的な構想について
	4 回	期日 令和4年3月22日(火) 9:00～12:00 方法 オンライン会議 出席 13名 田辺会長参加 内容 (1)開催要綱について (2)参加者募集・広報について (3)今後の対応について

成果確認 世話人11団体は次のとおりです。

- ①静岡県ボランティア協会 ②大阪ボランティア協会 ③茨城NPOセンター・コモンズ
- ④富士福祉事業団 ⑤東京ボランティア・市民活動センター ⑥山梨県ボランティア協会
- ⑦世田谷ボランティア協会 ⑧ボランティア・市民活動推進センターいたばし
- ⑨JUON(樹恩) NETWORK ⑩とちぎボランティアネットワーク
- ⑪ちば市民活動・市民事業サポートクラブ (順不同)

第39回会議 令和4年5月28日(土)29日(日)、東京ボランティア・市民活動センター  
山梨学生ボランティア推進委員会として一日目分科会で実践発表を行うことになりました。

### 3 「夢を生きる:女性の為の教育・訓練賞」応募者推薦

概要 「夢を生きる賞」は、就業機会向上の為に技能訓練や教育を受けることで、自分と家族の為のよりよい生活を目指している女性を支援しております。  
貧困、DV、性的暴力、離婚、配偶者との死別など、人生の試練に遭遇しながらも、それを乗り越え、新たな道を切り開こうとしている女性を応募しています。

主催 国際ソロプチミスト山梨  
推薦 令和3年10月27日(水) 甲府市在住 女性を推薦  
成果 国際ソロプチミスト山梨クラブ賞 受賞  
日本東リジョン賞 受賞  
上記二つの賞を受賞いたしました。

### 4 関係機関・団体等からの委員委嘱等に伴う対応

多様な主体との連携・協働を図り、県V協として持ち味を生かし対応可能な最善を尽くすために、関係機関・団体等からの委員委嘱等要請を受け、取り組みました。  
新型コロナウィルス感染症拡大のためオンライン会議や書面表決等もありました。

#### (1)環境パートナーシップやまなし 委員

##### ①環境パートナーシップやまなし役員会及び企画委員会合同会議

期日 令和3年5月14日(金)

方法 書面表決 「全て賛成」とFAX 回答

- 内容 (1)令和2年度事業報告(案)について  
(2)令和2年度収支決算(案)について  
(3)役員・企画委員の選任(案)について  
(4)令和3年度事業計画(案)について  
(5)令和3年度収支予算(案)について  
(6)環境パートナーシップやまなし会則の一部改正について

##### ②環境パートナーシップやまなし令和3年度定期総会

期日 令和3年6月25日(金)

対応 書面表決 「全て賛成」とFAX 回答

- 内容 (1)令和2年度事業報告(案)について  
(2)令和2年度収支決算(案)について  
(3)役員・企画委員の選任(案)について  
(4)令和3年度事業計画(案)について  
(5)令和3年度収支予算(案)について  
(6)環境パートナーシップやまなし会則の一部改正について

#### (2)山梨県障害者福祉ふれあい会議 理事

名称 令和3年度山梨県障害者福祉ふれあい会議総会

期日 令和3年7月29日(木) 13:30 福祉プラザ4F 大ホール

対応 他の行事と重なり欠席

- 内容 (1)令和2年度事業報告及び決算報告について  
(2)令和3年度事業計画及び収支予算について

### (3) 公益財団法人山梨みどり奨学会 理事

名称 令和3年度第1回定時理事会  
期日 令和3年6月23日(水)  
対応 書面表決「全て賛成」と回答  
内容 育英奨学金貸与事業、債権管理に関する規程施行細則の一部改正について  
令和2年度事業報告について  
令和2年度収支決算の承認について  
定時評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について

名称 理事会決議事項について  
期日 令和3年7月21日(水)  
対応 同意書提出 全て賛成と回答  
内容 (1) 理事長、副理事長の選定の件  
(2) 臨時評議員会の開催及び議事に付すべき事項の件

名称 令和3年度臨時理事会  
期日 令和4年3月22日(火) 回答  
対応 同意書提出 全て賛成と回答  
内容 (1) 令和3年度補正予算について  
(2) 資金運用について  
(3) 令和4年度事業計画について  
(4) 令和4年度収支予算について  
(5) 資金調達及び設備投資の見込みについて  
(6) 令和4年度～8年度の中期経営計画について  
報告事項  
(1) 令和3年度事業報告及び収支決算(見込み)について

### (4) 公益財団法人長田ふるさと財団運営委員会 委員

名称 第27回「県民の看護師さん」の選考について  
期日 令和4年2月3日(木)  
対応 書面審議 選公表の提出1月28日 意見書の提出2月08日  
内容 13名の被推薦者の評価を行い提出。5名が選考され理事会にて選考を行う。

名称 令和3年度運営委員会  
期日 令和4年2月3日(木)  
対応 書面審議 意見書の提出2月1日 審査採点表の提出2月10日  
内容 10事業の応募者の採点を行い提出。5事業が採択された。

### (5) 公益財団法人鈴木助成事業財団 評議員

名称 令和3年度評議員会  
期日 令和3年6月18日(金)  
対応 同意書を提出 全て賛成と回答  
内容 (1) 令和2年度決算の承認について  
(2) 評議員及び役員(理事・監事)の選任について

名称 令和3年度助成事業報告式 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止  
期日 令和4年1月19日(水) 11:00～12:30  
対応 ホテル談露館 1階 アンバー

名称 令和3年度臨時評議員会  
期日 令和4年2月1日(火)  
対応 同意書を提出 全て賛成と回答  
内容 (1) 流動資産から基本財産への一部繰入及び定款の変更について

## (6) 中央ろうきん助成制度「カナエルチカラ」 選考委員

名称 カナエルチカラ山梨地区選考委員会  
期日 令和3年11月29日(月) 14:00~16:00  
対応 オンライン開催 書面評価表の提出 11月10日  
内容 選考委員5名による協議を行い  
都県選考(一次選考)2件を採択案件とした

## 5 後援名義使用要請への対応

当協会への後援名義使用申請に伴い次のとおり承認対応を図りました。

No.	対応期日	曜	事業名称 (申請団体)
1	6月24日	月	第67回 白い杖愛護運動月間(山梨ライトハウス)
2	6月30日	水	第24回 山梨県障害者文化展(山梨県障害者福祉協会)
3	8月27日	金	第18回 やまなし留学生スピーチコンテスト (やまなし留学生スピーチコンテスト実行委員会)
4	10月13日	水	第41回 山の都ふれあいコンサート(山の都ふれあいコンサート実行委員会)
5	10月15日	金	第23回 山梨YMCAインターナショナル・チャリティーライン2021 (第23回山梨YMCAチャリティーライン実行委員会)
6	11月2日	火	令和3年度山梨県「障害者の主張」大会(山梨県障害者福祉協会)
7	11月25日	木	「障害者作品展」(山梨県障害者福祉協会)
8	12月9日	木	第48回 ジャンボひまわりのつどい(山梨県障害者福祉協会)
9	12月28日	火	ヤングケアラーシンポジウム(public house モモ)

## Ⅲ 県V協中間支援組織基本事業

中間支援組織としての県V協の存在意義を成す基本事業として  
県民の社会貢献活動への参加を促進するために次の取り組みを図りました。

### 1 「きふの窓口」

「寄付金」「寄付物資」と「社会貢献活動」とのアレンジ

「遺贈きふの窓口」も設置。公正証書遺言の作成のサポート

★県V協認定NPO法人取得申請(継続)。寄付者への寄付控除団体となる

→開設にあたり、①寄付金を、県V協においてどの様に会計処理するのか。

②認定NPOになるための事務所問題。など、現時点における課題が明確となった。

次年度は、これらの課題を克服し、「きふの窓口」を開設したい。

★令和3年度取り組み実績は次のとおりでした。

#### (1) ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム観戦(招待)

明治安田生命J2リーグ2021及び2022のホームゲーム鑑賞券を「株式会社キトー様」より  
ご招待いただき、福祉施設等に配布させていただきました。

- 1 3月1日 月 2021明治安田生命J2リーグのご案内  
3月以降のホームゲームをご招待いただいた。
- 2 3月15日 月 3月のホームゲームをご招待いただいた。
- 3 4月2日 金 4月のホームゲームをご招待いただいた。
- 4 4月22日 木 5月のホームゲームをご招待いただいた。
- 5 10月30日 土 11月12月ホームゲーム3試合分をご招待いただいた。
- 6 2月28日 月 2022明治安田生命J2リーグのご案内  
3月ホームゲーム3試合分をご招待いただいた。
- 7 3月28日 月 2022明治安田生命J2リーグのご案内  
4月~8月ホームゲームをご招待いただいた。

## (2) マックスバリュ東海株式会社 様

マックスバリュ東海(株)様の「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」により山梨県ボランティア協会は、2017年(平成29年)より、助成金(物品)を頂いております。

### 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」の趣旨・目的

本キャンペーンは、イオンが地域への社会貢献活動を行う「イオン・デー」(毎月11日に開催)に、地域で活躍されている「ボランティア団体」などに対して、地域のお客さまとともに応援し、イオンがその活動に役立つように物品をもって助成するものです。

幸せの黄色いレシートキャンペーンの投函総額数の1%(¥27,800)を贈呈により令和3年5月11日(火)11:00、「ザ・ビッグ甲斐敷島店」にて商品と交換しました。頂戴いたしました商品は、令和3年7月28日(土)29日(日)本栖寺で実施したGO TO CAMP in本栖寺・いのちをつなぐ支援活動を応援!~支える人を支えよう~等で活用させていただきました。

## (3) 甲府ミュージアムハウス 様

田辺文子さんが、2020年・令和2年12月、私設美術館「甲府ミュージアムハウス」を甲府市貢川2丁目に開館されました。

ハウスには、テディベアや人形が数百個と画家藤田嗣治氏の猫シリーズ等作品が展示されておりますが、ハウス内にある「貸出展示室」の使用料金を利用者が寄付する形・仕組みを創って下さり、令和3年4月以降、「貸出展示室」利用者様より山梨県ボランティア協会への寄付を頂きました。

## (4) 令和3年度 寄付者・寄付金額一覧表

1	4月14日	水	小野 久美子 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	7,000
2	4月22日	木	林山 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	2,000
3	5月20日	木	秋山 要子 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	2,000
4	6月15日	火	林山 耕造 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	1,500
5	6月21日	月	青柳 修平 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	500
6	7月19日	月	木村 結花美 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	2,000
7	9月22日	水	山本 修子 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	3,000
8	11月29日	月	中澤 澄子 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	2,300
9	12月13日	月	絆つなぎの会 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	7,500
10	12月27日	月	山梨英和中学校・高等学校 様		30,000
11	1月4日	火	中込 敏 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	1,500
12	1月13日	木	高橋 幸子 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	2,000
13	1月18日	火	藤田 由也 様	(甲府ミュージアムハウス使用料寄付)	2,000
14	1月31日	月	田辺 光正 様	(成年後見事務報酬付与寄付)	240,000

## 2 「ボランティアの窓口」

「ボランティア希望者(個人・団体)」の登録窓口。

「ボランティア希望者(個人・団体)」と「社会貢献活動」とのアレンジを県V協が行う。県V協の会員となつていただくことにより掲載可能となるなどの、会員となることのインセンティブとして仕立てることも検討したい。

★会員・賛同者等の拡大につなげていく

→現在、山梨県ボランティアNPOセンターのウェブサイトには、団体一覧とボランティア募集の掲示板が存在しているが、行動は見た人に委ねている。

「きふの窓口」「ボランティアの窓口」を開設することで明確な狙いを持って活動をアレンジする主体として、県V協を位置付けたい。

来年度からは、山梨県ボランティアNPOセンターのウェブサイトを県V協が管理運営することから「きふの窓口」「ボランティアの窓口」との兼ね合いを考慮しながら両窓口を開設したい。

### 3 動画放送局「Channel V」

社会貢献活動を中心とした主に動画による情報提示

各地のケーブルテレビ局との連携を模索する。(動画提供・取材協力)

★社会的意義があると思われるテーマを扱い個人・企業を問わず

スポンサーになってもらうことで維持費と県V協の収益を生み出す可能性を探る。

→「きふの窓口」「ボランティアの窓口」により生まれた活動を中心に紹介する予定。

それにより、両方の窓口に関わることへのインセンティブとしたい。

### 4 社会貢献情報誌「やってみなはれ(仮称)」

主にシニアに向けた社会貢献活動を紹介する情報誌。

県V協の取り組みの全体像がわかるような紙面構成を心がける。

シニアにボランティア情報を届けるには紙媒体はほしいところ。

→『富士の国シニア山梨だより』を発行する山梨県老人クラブ連合会を訪問し、

県内各地には数多くのボランティア活動を行う老人クラブが存在していることを

確認した。それらの老人クラブを「ボランティアの窓口」に掲載し、なおかつボラ

ンティア活動を斡旋し、その活動結果を「やってみなはれ(仮称)」に掲載する。

シニアの社会貢献意識を高める役割を担わせたい。

また、これにより『富士の国シニア山梨だより』への誌面提供が可能となり

「やってみなはれ(仮称)」の認知向上につながる。

### 5 「福祉作業所などの商品販売サイト」

生産過程・販売・販売益などにおいて地域づくりに貢献する商品をまとめて提示する

福祉作業所などの実情を提示できる舞台となり作業所などの販売促進につなげる

★施設等を訪問し情報交換を行い支援できる機関等をつなぎ・協働を行っていく

→山梨県工業技術センター・デザインセンターを訪問し、協力いただける運びとなる。

デザインセンター担当者と甲斐市のぎんが工房を訪問し福祉作業所の現状を確認した。

加えて、デザインセンター協力のもと、ぎんが工房の商品開発に着手。今後は、これら

の経緯を踏まえて、販売サイトを立ち上げ、福祉作業所の発展に貢献したい。

## ■ 法人運営

中間支援組織としての法人運営事務局業務を次のとおり行いました。

### 1 役員の改選・業務執行体制の強化

#### (1) 役員改選

任期満了の伴う理事・監事の選任を行いました。

女性の参画拡大、次世代体制の整備を図りました。

理事 12名

監事 2名

#### (2) 業務執行

理事の役割分担による業務執行を図りました。

こども若者応援事業

ひと・まち・くらし運営事業

中間支援組織基本事業

法人運営事務局業務

## 2 「ガバナンス・コンプライアンス強化」

定款の見直し・必要な規程と体制の整備を図りました。

### (1) 定款の変更

#### ① 第2条(事務所)

変更後	この法人は、事務所を山梨県甲府市に置く。
変更前	この法人は、事務所を山梨県甲府市丸の内2丁目14番13号に置く。
総会決定	令和3年5月31日 総会にて定款変更を決定。
所轄庁届	令和3年6月18日 定款変更認証申請 令和3年7月14日 定款変更認証指令書
理事会決定	令和3年8月12日 事務所の移転を決定
法務局登記	令和3年8月19日 甲府法務局登記 新事務所 甲府市美咲2-15-16
意味確認	事務所の移転が、理事会決議で行えるようになりました。 旧定款では、事務所の番地まで明記してありましたので、 事務所移転が定款変更になるため総会決議が必要でした。

#### ② 第14条(役員)の任期)

変更後	3 第1項の規定にかかわらず、任期満了前に、 就任後2事業年度が終了した後の総会において 選任された場合には、当該総会が終結するまで を任期とする。
変更前	3 新設
総会決定	令和3年5月31日 総会にて定款変更を決定。
所轄庁届	令和3年6月18日 定款変更認証申請 令和3年7月14日 定款変更認証指令書
意味確認	2年任期を前提としておりますが、 総会から総会までの任期という形にすることが できました。 旧定款では、役員改選期の総会を2年前の総会 と同日に行う必要がありましたが、定款変更で、 役員改選期の総会を「2年前の総会同日以前」 に開催することでも良いこととなりました。 役員改選期の総会開催日が設定しやすくなりました。

### (2) 規程の整備

特定非営利活動法人としてのコンプライアンス・ガバナンス強化に向けて  
必要な規程の整備を図りました。

- ① 倫理規程
- ② 役員利益相反防止のための自己申告等に関する規程
- ③ コンプライアンス規程
- ④ 監事監査規程
- ⑤ 内部通報(ヘルプライン)規程
- ⑥ リスク管理規程
- ⑦ 情報公開規程

### (3) 山梨県ボランティア・NPOセンター運営に伴う規程等整備

山梨県ボランティア・NPOセンター運営に伴う必要な規程の整備を図りました。

- ① 山梨県ボランティア・NPOセンター運営委員会規程
- ② 就業規則等の見直し検討

### 3 会議開催

#### (1) 監事会

期日 令和3年4月26日(月) 10:00~11:00  
 会場 県ボランティア協会事務所 ダイタビル5F  
 出席 6人 監事2名 正副会長3名 事務局職員1名  
 内容 (1)令和2元年度事業報告書(案)について  
 (2)令和2年度収支決算書(案)について  
 (3)今後の事業展開について

#### (2) 第23回通常総会

期日 令和3年5月31日(月) 14:00~15:30  
 会場 甲府市総合 市民会館 3階大会議室  
 出席 本人24名 委任40名  
 内容 (1)令和2年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)について  
 (2)定款の一部変更(案)について  
 (3)役員任期満了に伴う理事・幹事の選任(案)について  
 (4)令和3年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について

#### (3) 理事会

第1回	期日	令和3年4月28日(水) 14:00~16:30
	会場	甲府市総合市民会館 なないろカフェ
第2回	出席	9人
	内容	(1)令和2年度事業報告書(案)、収支決算書(案)について 監事監査報告について (2)定款の一部変更(案)について (3)役員任期満了に伴う理事・幹事の選任(案)について (4)令和3年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について (5)その他
第3回	期日	令和3年5月17日(月) 14:00~15:30
	会場	甲府市総合市民会館 なないろカフェ
第4回	出席	10人
	内容	(1)組織体制について (2)事業推進について (3)ガバナンス・コンプライアンスの強化に伴う 定款の見直し 規程の整備について
第5回	期日	令和3年8月12日(木) 13:30~14:30
	会場	魚の仕事人
第6回	出席	8人
	内容	(1)主たる事務所の移転について (2)今後の対応について
第7回	期日	令和3年11月24日(金) 10:00~12:00
	会場	やまなし地域づくり交流センター 3階 第4会議室
第8回	出席	9人
	内容	(1)令和4年度山梨県ボランティア・NPOセンター運営について (2)山梨県ボランティア・NPOセンター運営委員会について (3)今後の事業展開について
第9回	期日	令和4年3月30日(水) 14:00~15:30
	会場	やまなし地域づくり交流センター 3階 第4会議室
第10回	出席	9人
	内容	(1)令和3年度事業報告及び収支決算見込(案)について (2)令和4年度事業計画及び収支予算(案)について (3)令和4年度山梨県ボランティア・NPOセンター運営について